

先輩職員インタビュー③

地域の福祉をいっしょに支える先輩職員を紹介します

障害者生活支援センターわかば Nコーディネーター（相談員）

入職 平成28年4月
前職 出版社の営業事務職
夢 旅先でのドライブ（運転のほうも「わかば」なので…）



★入職のきっかけは？

⇒前職は介護離職しましたが、介護の悩みを専門職の方に相談することで、先のことを考えられるようになりました。社会復帰を考えたとき、私もそのように人の役に立ちたいと思ったのがきっかけです。たまたま近所のわかくさを見学したときに、利用者さん皆さんの個性に惹かれ、このままここで働いてみたいと思いました。

★現在の仕事の内容は？

⇒困りごとのある方からお話をうかがい、その方らしい暮らしの実現に向けて、できることを一緒に考えていく仕事です。内容は健康・お金・人間関係・住まいなど多岐にわたります。一緒に気持ちを整理したり、社会資源の利用につなげたりします。必要に応じて就労支援センターなどの他機関と連携することもあります。

その他に、将来の暮らしを考えるきっかけ作りとして、ご家族向けの勉強会を企画したり、日中の居場所作りといった取り組みも行っています。



★仕事でやりがいを感じるのはどんなとき？

⇒「つなぐ」ことができたときです。ヘルパーなどのサービス利用につなぐだけでなく、企画したイベントに参加した方同士が情報交換したり、支援会議で初めて支援者が集まるような場面もそうです。しかし支援としてはそこからが大事かもしれません。

★今後の目標は？

⇒わかばの先輩方のように、相談する方の気持ちに寄り添いつつ、しっかりと支援の組み立てができるようになりたいです。

★メッセージ

⇒誰かの生活を支えるという重みのある仕事ですが、やりがいは充分です。日頃から相談しやすい雰囲気があるので、経験にこだわらず、色々な方にチャレンジして頂きたいです。



~~~~~ある日のスケジュール~~~~~

8:30 出勤・朝礼

10:00 勉強会打合せ テーマや日程、役割分担を話し合います。法人内の職員が、部署の垣根を越えて参加しています。

11:30 電話相談 精神科病院の相談員さんから「ある患者さんの退院後の生活の準備を、一緒に考えてもらいたい」と相談がありました。概要をうかがい、病院訪問の日程調整をしました。

12:00 休憩

13:00 訪問 この日は重度（寝たきり）の方を訪問し、ご本人の希望に応じて一緒に音楽を聴いたり、お話をしました。楽しい時間を共有しつつ、ご本人の意思決定を支えるつもりで関わっています。

16:00 訪問 学校を休みがちなお子さんのことで、お母さんからの相談。市（こども家庭課）の相談員さんも同行します。

17:15 退勤 お勤めしている方からこの時間帯に相談が入ることも。その場合はちょっぴり残業です。